

令和5年度 経営発達支援計画 地域経済動向調査結果（業況等の概要）

八幡市商工会

1 調査概要

(1) 調査期間 令和5年9月～12月

(2) 調査対象事業所 120事業所

< 内 訳 >

(件数)

| 常時使用する 従業員数 | ① 建設業 | ② 製造業 | ③ 卸売業 小売業 | ④ サービス 業 | ⑤ 飲食 サービス業 | ⑥ 運輸業 | 【計】 |
|----------------|----------|----------|-----------------|----------------|------------------|----------|-----|
| 0～5人 | 14 | 14 | 21 | 17 | 8 | 3 | 77 |
| 6～20人 | 2 | 9 | 6 | 7 | 0 | 3 | 27 |
| 21人以上 | 2 | 5 | 2 | 2 | 2 | 2 | 15 |
| 不 明 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 【計】 | 18 | 28 | 30 | 26 | 10 | 8 | 120 |

(3) 調査対象期間 令和5年7月～9月

(4) 調査方法 調査票に基づき訪問又は郵送にて回答
※調査票の様式は、全国商工会連合会が全国の各単会を通じて
四半期ごとに調査している調査票とほぼ同じ様式。

2 調査結果業況概要

< 今期の状況 > ⇒ 今期：令和5年7月～9月

(※1) 前年同期=令和4年7月～9月 (※2) 前期=令和5年4月～6月

< 来期の見通し > ⇒ 来期：令和5年10月～12月

(※3) 前年同期=令和4年10月～12月 (※4) 来期=令和5年10月～12月

< 自社の今期の水準 > (過去との比較ではない)

(※5) 今期=令和5年7～9月

① 建設業

<今期の状況>

- ・前年同期（※1）比は、不変とする回答が多いが、仕入単価が上昇との回答も多。
- ・前期（※2）比は、全ての項目で不変とする回答が多。

<来期の見通し>

- ・前年同期（※3）と比べて来期（※4）の見通しは、不変とする回答が多いが、仕入単価が上昇との回答も多。

<自社の今期の水準>

- ・今期（※5）の業況水準は、普通とする回答が多。

② 製造業

<今期の状況>

- ・前年同期（※1）比は、不変とする回答が多いが、仕入単価が上昇し、採算・業況が悪化との回答も多。
- ・前期（※2）比でも、不変とする回答が多いが、売上額が減少し、業況が悪化との回答も多。

<来期の見通し>

- ・前年同期（※3）と比べて来期（※4）の見通しは、不変とする回答が多いが、仕入単価が上昇し、採算・業況が悪化との回答も多。

<自社の今期の水準>

- ・今期（※5）の業況水準は、普通とする回答が多いが、業況が悪化との回答も多。

③ 卸売業・小売業

<今期の状況>

- ・前年同期（※1）比は、不変とする回答が多いが、仕入単価が上昇し、売上数量・客数が減少しているとの回答も多。
- ・前期（※2）比は、不変とする回答が多いが、売上数量・客数が減少との回答も多。

<来期の見通し>

- ・前年同期（※3）と比べて来期（※4）の見通しは、不変とする回答が多いが、仕入単価が上昇し、売上数量・客数が減少との回答も多。

<自社の今期の水準>

- ・今期（※5）の業況水準は、普通とする回答が多いが、業況が悪化との回答も多。

④ サービス業

<今期の状況>

- ・前年同期（※1）比は、不変とする回答が多いが、売上額が増加、仕入単価が上昇との回答も多。
- ・前期（※2）比は、全ての項目で不変とする回答が多。

<来期の見通し>

- ・前年同期（※3）と比べて来期（※4）の見通しは、全ての項目で不変とする回答が多。

<自社の今期の水準>

- ・今期（※5）の業況水準は、普通であるとの回答が多。

⑤ 飲食業

<今期の状況>

- ・前年同期（※1）比は、不変とする回答が多いが、仕入単価が上昇、採算が悪化との回答も多。
- ・前期（※2）比は、全ての項目で不変とする回答が多。

<来期の見通し>

- ・前年同期（※3）と比べて来期（※4）の見通しは、不変とする回答が多いが、仕入単価が上昇、採算が悪化との回答も多。

<自社の今期の水準>

- ・今期（※5）の業況水準は、普通とする回答が多いが、業況・採算とも悪化との回答も多。

⑥ 運輸業

<今期の状況>

- ・前年同期（※1）比は、不変とする回答が多いが、売上額が減少、採算が悪化との回答も多。
- ・前期（※2）比は、悪化とする回答が多い。特に、売上額が減少、資金繰りが悪化との回答が多。

<来期の見通し>

・前年同期（※3）と比べた来期（※4）の見通しは、悪化とする回答が多い。特に、採算が悪化との回答が多。

<自社の今期の水準>

・今期（※5）の業況水準は、良いとの回答が非常に少ない。普通と悪化の回答が同数。

令和5年度 経営発達支援計画 地域経済動向調査結果
(今期の経営上の問題点)

(上位3項目)

① 建設業

今年度

- ①材料価格の上昇 ②人件費の増加
②材料費・人件費以外の経費の増加 ②請負単価の低下・上昇難

(令和4年度)

- ①材料価格の上昇 ②事業資金の借入難 ②熟練技術者の確保難

② 製造業

今年度

- ①原材料価格の上昇 ②需要の停滞
③原材料費・人件費以外の経費の増加 ③熟練技術者の確保難

(令和4年度)

- ①原材料価格の上昇 ②生産設備の不足・老朽化 ②原材料の不足

③ 卸売業・小売業

今年度

- ①仕入単価の上昇 ②消費者ニーズの変化への対応 ②人件費以外の経費の増加

(令和4年度)

- ①人件費以外の経費の増加 ①仕入単価の上昇 ③消費者ニーズの変化への対応

④ サービス業

今年度

- ①従業員の確保難 ②人件費の増加
③利用ニーズの変化への対応 ③人件費以外の経費の増加

(令和4年度)

- ①従業員の確保難 ②利用ニーズの変化への対応 ②人件費以外の経費の増加

⑤ 飲食サービス業

今年度

- ①材料等仕入単価の上昇 ②従業員の確保難
③店舗施設の狭隘・老朽化 ③人件費の増加

(令和4年度)

- ①材料等仕入単価の上昇 ②店舗施設の狭隘・老朽化
③人件費の増加 ③人件費以外の経費の増加 ③従業員の確保難

⑥ 運輸業

今年度

- ①人件費以外の経費の増加 ②従業員の確保難 ③人件費の増加

(令和4年度)

- ①人件費以外の経費の増加 ②人件費の増加 ②材料等仕入単価の上昇